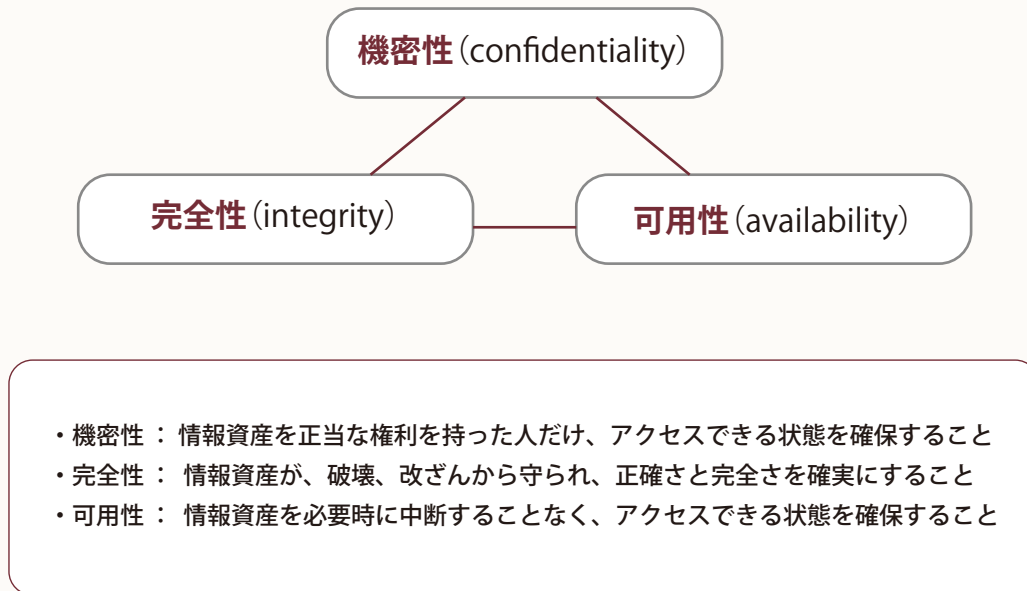


セキュリティという言葉の意味

セキュリティは、心配がないことが語源



セキュリティという言葉は、もちろん Security のことで、ラテン語の *sēcūra* から語源で、*sē*には離れて、*cūra*には心配という意味があり、「心配がないこと」という意味から来ていて、*cūra*が *cure*（治す）に変わったといわれています。日本語では、安全、防犯と訳されますが、警備や、有価証券、担保、機密保護などいろいろな意味があります。IT分野においては「情報セキュリティ」という言葉が頻繁に使用されますが、これは JIS Q 27002 (ISO/IEC 27002) によって、情報の機密性、完全性、可用性を維持することと定義されています。

- ・機密性：情報資産を正当な権利を持った人だけ、アクセスできる状態を確保すること
- ・完全性：情報資産が、破壊、改ざんから守られ、正確さと完全さを確実にすること
- ・可用性：情報資産を必要時に中断することなく、アクセスできる状態を確保すること

この3つの要素に加えて、「真正性」、「責任追跡性」、「否認防止」、「信頼性」の4つの特性も定義されています。

IT分野において、セキュリティとは、コンピュータセキュリティを指しますが、これはPCなどのハードウェアを守るといよりは、コンピュータにて取り扱う、または生成されたデータという情報資産を安全に守ることが主な目的となります。だからこそ、情報セキュリティという言葉が重要になるのですが、情報は目に見えません。

そして、容易に大量に生産され、加工、編集も複製も可能です。

目に見える物理的なものは、壊れているかどうか分かり易いですが、その点、情報はデータという文字や数字で視える化して、セキュリティが確保されているかどうか、常に監視が必要です。

情報化社会で、企業で取り扱う情報が莫大に膨れ上がっている現状で、このセキュリティを、人の目検で監視するのは到底無理です。

企業にとって、このセキュリティをいかに安全に管理し継続できるかは、セキュリティガイドラインに即して、その企業に適したセキュリティポリシーを策定し、セキュリティツールや、セキュリティサービスなどを活用しながら、効率よく新しい知識をアップデートしながら改善を繰り返し、厳格に運用していくことが大切です。